



日本大学三島高等学校 同窓会会報

Vol. 45

2016.3.2



心新たに『同窓会自立を目指して』

会長 日置 信弘

第3期生 (富士市在住)

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

母校卒業後、多方面でリーダーとしてご活躍の皆様にご敬意を表しますと共に、同窓会活動に対し、ご理解、ご支援を賜っておりますことに衷心より感謝申し上げます。

光陰矢のごとし、私が同窓会会長を拝命し、はや1期2年が経とうとしております。同窓会創設55年の今年は、終戦70年を迎え大きな変革の年でもありました。とりわけ選挙権の附与年齢が18歳に引き下げられたことは、大きな改革であり今後の教育指導の上でも、生徒の政治に参加する姿勢や関心度等をどのように指導していくのか真価を問われる大事な時でもあります。また、自然災害や世界各地で多発するテロ事件、国内の事故や事件に脅かされた年でもありました。一日も早く安全で安心な生活を取り戻したいものです。

さて、同窓会にあっては当初掲げた『同窓会の自立』に向かい、執行部一丸となって邁進してきました。人との出会いを大切に、人を利用するのではなく、人の力を借りて仲間とともに一所懸命取り組むことを肝に銘じ、諸先輩方が築かれた輝かしい伝統と歴史を汚さぬよう全力で駆け抜けた二年間でした。仲間を支えられ、母校の変革の中(渡邊武一郎国際関係学部長の高校校長兼任)母校と同窓会は、両輪であるべきとの信念の下、会員相互の親睦と融和を図り、『母校発展に寄与できる同窓会』を合言葉に一歩ずつではありますが自立の道を歩むことが出来ました。そして、支部総会に出席して同窓会設立草創期にご尽力下さった先輩方と久しくお話をさせていただく機会もいただきました。多くの分野で活躍されておられる同窓生の姿に勇気をいただき、多くの同窓生が教育の現場で活躍され、いつも母校のことを心にとめて下さっておられることも伺いました。また、貴重な提案もいただくことが出来

ました。同窓生の、同窓会に対する大きな期待と、母校に対する熱い思いをしっかり受け止めて、母校と同窓生の架け橋になれるよう、これからの同窓会運営に反映させてまいりたいと思います。

母校に目を移してみますと、文武両道を掲げ生徒たちは創設50周年の記念事業の一環で新装された校舎の恵まれた環境の中で精一杯頑張っております。高校スポーツの華、野球部は甲子園も手が届くところまで頑張っております。高校駅伝も女子チームが都大路まであと一步届きませんでした。夢をつないでくれました。近い将来きっと夢をかなえてくれると信じております。今年もまた多くの生徒が国立大学や有名私立大学に合格されましたが、是非、一人でも多くの生徒が本学へ進学し、勉学で、またスポーツで活躍していただきたいと思っております。

結びになりますが、1月12日開催の理事会に於いて再任をいただき心新たに、日本大学三島高等学校同窓会が、今後、益々充実発展して行くために尽力して行く所存です。また母校と同窓会の発展と母校に支援できることを模索して参りたいと思っております。皆様の更なるご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





「笑顔を胸に！」

日本大学国際関係学部長
日本大学三島高等学校・中学校校長 渡邊 武一郎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから皆さんは日大三島高校の同窓会の一員となります。

2月20日には同窓会の日置会長様他、多くの先輩方のご尽力をいただき、京都清水寺の森清範貫主をお招きして同窓会入会式が執り行われました。その際に、予め卒業生の皆さんにアンケートで選んでいただいた高校3年間の表現する一文字を、森貫主にご揮毫いただきました。どんな字が現れるのかドキドキしながらその瞬間を見つめました。そこに現れたのは「笑」の文字でした。笑顔の「笑」を多くの卒業生が選んでくれたことに、我々教職員、そして生徒の皆さんも嬉しく、喜びがこみ上げてきた事と思います。皆さんが日大三島高校で過ごした3年間は笑顔の浮かぶ場面が多く、そして、その3年間の回想する時にも自然と笑顔が浮かんでくるでしょう。

これから皆さんは日大三島高校を巣立ち、それぞれの新しいステージへと進むこととなります。住み慣れた三島の地を離れて東京、その他の地で新しい

生活を始める方も多いと思います。そこではこれまで経験した事のない出来事に直面するかも知れません。楽しい事ばかりでは無く、苦しいこと、辛いこともあるかと思えます。そんな時は、一人ですべてを抱え込まずに、同級生や先輩に相談をして下さい。皆さんには54,000人を超える同窓生という仲間がいます。皆、人生のうちの大切な3年間の日大三島高校で過ごした先輩たちです。

皆さんが日大三島高校での楽しい思い出を胸に、これからの人生も笑顔で過ごしていかれることを心から祈念申し上げます。



プロ野球選手誕生の瞬間

平成27年10月22日(木)、日本野球機構(NPB)「新人選手選択会議」(ドラフト会議)が開催されました。本校から小澤怜史投手(3年1組)が、福岡ソフトバンクホークスの2位で指名されました。ドラフト会議当日は、本校6階の大会議室に多くの関係者が集まり、固唾を飲んで見守っていました。指名された瞬間は驚きの表情を見せる一方で、冷静に落ち着いて報道関係者のインタビューに答える小澤君の姿が印象的でした。





新入会員の言葉

それぞれの道

生徒会長 服部 美和

本日をもって、私たち666名は伝統ある日本大学三島高等学校の同窓会に入会します。普段、何気なく使っている同窓会という言葉はどのような意味なのでしょう。「同窓」とは、同一の師に学んだ友人たちを意味する漢語です。私たちは、幼稚園、保育園・小学校・中学校を経て、日本大学三島高等学校に入学しました。今日まで歩んできた道は人それぞれでありながら、同じような、似たような道を歩んできたと思います。しかし、この春から私たちは、夢や未来に向かって、それぞれがまったく違う道を歩き始めます。改めて、それを実感することをできる場所が、同窓会であると私は考えます。

今日まで、共に切磋琢磨してきた仲間たちとの繋がりを大切にすることができる場所、日本大学三島高等学校同窓会に誇りを持ち、新たな場所で活躍できるよう努めます。

最後になりますが、私たちの母校である日本大学三島高等学校の発展に寄与できるように尽力することを誓います。



新入会員を迎える

未来への架け橋

第44期生 相磯 雅宏

第56期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様の卒業式を3年生の担任として参加する中で私自身の高校時代の事を思い出してみました。私は日本大学三島高等学校を卒業して12年が経ちました。今、私の高校時代を振り返ってみると人生の大きな転機の機会を与えてくれた場だと思っています。私は高校3年生になるまで特に将来の夢も明確に持っておらず、自発的に何かすることもなく、ただ敷かれたレールの上しか走ってきませんでした。しかし高校3年の時、恩師と呼べる先生との出会いから先の見えない将来に光が差し込みました。それからは、将来の夢を実現させるために自分自身でレールを敷き直し、様々な挑戦をしました。しかし、自分でレールを敷いて努力し続けることはとても不安であり、とても大変な事でした。ただ、幾多の挫折を繰り返しながらも、周りの人の支えがあり、自分を表現できる能力を取得することに懸命になることができ、夢を実現させることができました。私は平凡で特に秀でた能力も才能もなく、このきっかけがなければ夢に向かって一生懸命努力することなどなく、普通に生活をしていたと思います。

私は教師という立場を通じて、多くの生徒に何かしらのきっかけを与えたいという気持ちを持ち続けています。最初は小さなものであったとしても、それが将来への目標となり、その目標を達成するために誰もが努力できるようになっていくと思います。また、目標を共有できる仲間がいれば、さらに頑張ることができます。

この日本大学三島高等学校は多くの人が共存する場です。様々な出会いや経験、思いが生まれる地です。人から得られるものは多く、その得たものを通じて全生徒がこの地を未来への架け橋としてほしいと思います。そして将来、今度は皆様が誰かの未来への架け橋になるような人物に成長してほしいと願っております。

第56期生 代表一覧

代表
服部 美和 (3組)

— クラス代表 —

- | | |
|-------------|-------------|
| 1組 ■ 山田 篤弥 | 11組 ■ 内田 拳世 |
| 2組 ■ 梅澤 大地 | 12組 ■ 大森 朋美 |
| 3組 ■ 藤井 貴弘 | 13組 ■ 徳武 和馬 |
| 4組 ■ 鈴木 智也 | 14組 ■ 阿部 彩香 |
| 5組 ■ 小野寺 杏 | 15組 ■ 新井 瑞樹 |
| 6組 ■ 下山 夏生 | 16組 ■ 稲葉 敦紀 |
| 7組 ■ 小泉 知由 | 17組 ■ 齋藤 拓未 |
| 8組 ■ 林 優希 | 18組 ■ 庄司 昂生 |
| 9組 ■ 白井 楼未 | 19組 ■ 鈴木 勝智 |
| 10組 ■ 鈴木 美琴 | 20組 ■ 中村 彩乃 |

新教頭先生紹介

平成27年4月1日付をもって、瀧上雅彦先生が中学校教頭に就任しました。先生は長年、本校教諭として勤められ、教科は国語を担当しています。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。

短 信

ご定年を迎えられ退職される先生方

平成27年度、3名の先生方がご定年を迎えられ、退職されました。

江藤雄二先生(数学) 山下政範先生(国語)
江藤 誠先生(英語)

なお、江藤雄二先生は、平成23年4月1日から平成27年3月31日まで中学校教頭を務め中学校発展のためにご尽力されました。先生方のこれからのご活躍を同窓生一同、期待いたします。

同窓会入会式・記念講演

平成28年2月20日(土)



同窓会入会式を東シ大講堂にて行い、第56期生666名を迎えました。入会式では同窓会長による新入会員への

歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また新入会員から誓いのあいさつをいただくとともに、同窓会では表彰規定により、奨学金・奨励金を加藤公之君・服部優花さん・中村朱里さんの3名に渡しました。

入会式後の記念講演は、昨年に引き続き、講師に京都清水寺貫主森清範先生をお迎えし、『仏教が説くボランティア』というテーマで、お話をいただきました。事前に「3年間を回顧し心に残る一字」を募集した結果、最も多かった一字を当日、揮毫していただきました。また心の温まるたいへん興味深いご講演でした。



同窓会総会

平成27年6月5日(金) 於 三島プラザホテル

同窓会総会を三島プラザホテルにて開催しました。議事では平成26年度の活動報告・決算、平成27年度事業計画・予算・規約改正に関する案件などすべて承認されました。また同窓会との関わりが深く、このたび叙勲を受けられた杉山智彦様・渡辺渉章様・山内昭二様の3名をお祝いするとともに表彰しました。ご来賓として日本大学国際関係学部長兼日本大学三島高等学校・中学校長渡邊武一郎先生、佐野日本大学学園・佐野短期大学学長佐藤三武朗先生をお招きし、ごあいさつをいただきました。

総会後の懇親会では、会長のあいさつや還暦を迎えられた方々(14期生)への記念品贈呈などがあり、和やかに進みました。毎年恒例となっている空くじのなしのくじ引き大会では、沼津支部が企画し大いに盛り上がりました。



還暦のお祝いと表彰



活躍する同窓生を
紹介します④

ひと



『ブラタモリ』に出演しました 富士宮支部

くっきりとした空。目の前に迫る富士山。そして湧き出る水。富士山世界遺産の中心となる富士宮市において、日本大学関係者や日大三島同窓生が多く関わっていることはご存知でしょうか。本校卒業生で2015年10月放映のNHK『ブラタモリ』の富士山の美を語る企画の中でも登場し、現在、富士宮市郷土資料館館長の渡井一信（12期生）さんはその中心人物の一人である。

「富士山を世界遺産にするためには文化遺産でも自然遺産でもよかった。」

世界遺産の基準は文化遺産・自然遺産に区分し10項目ある。現在は2つの要素をつなげる複合遺産という考えが示されている。富士山はまさに複合遺産の対象であり、単なる文化遺産ではなく、自然美・美的価値を有する存在であると言える。

「現在、富士宮市では世界遺産富士山を中心とした街づくりが行われつつある。」という。

集まっていた富士宮支部の方々はそれぞれに富士山の世界遺産を目指した活動について述べた。また日本大学と富士宮市との関係も語る。国際関係学部・短期大学部との包括的連携協定の締結、生物資源科学部花鳥山脈実習場との関係、理工学部や工学部とのつながりなどを通じて、富士宮市の食育推進計画の策定や芝川のりの生育状況調査、新エネルギービジョンの策定など産官学連携に、多くの日本大学関係者が関わり、街づくりが行われていることを実感した。

「富士宮では日本大学桜門会・日本大学三島高校同窓会が結びついて活動が行われてきた。現在、富士宮から日大三島高校に通学する生徒も減り、昨年からは学校の保護者会と連携して行ってきた新入生歓迎会もなくなり寂しい。」

富士宮支部のみならず、若い人を巻き込んだ同窓会活動をどのように行うのかは早急の課題である。



富士宮支部



富士宮焼きそば



富士宮市役所7階からの富士山

今回の記事の作成にあたり、富士宮支部の望月重人様・佐野英則様・渡井一信様・深澤好幸様に富士宮市役所にお集まりいただき、取材しました。富士宮支部の皆様、ご協力ありがとうございました。

同窓会役員一覧

役職	氏名	所属支部	支部長	氏名
会長	日置 信弘 (3期)	富士	三島支部長	柳田 和夫 (10期)
副会長	手島 正武 (3期)	沼津	沼津支部長	土屋 照夫 (4期)
//	宮澤 正 (4期)	田方	田方支部長	石井 真澄 (10期)
//	深澤 好幸 (7期)	富士宮	裾野支部長	西島 明彦 (7期)
//	関 礼子 (8期)	三島	御殿場支部長	杉山 和男 (14期)
//	小澤 薫 (9期)	静岡	富士支部長	稲葉 邦文 (9期)
会計	杉本 雅俊 (3期)	沼津	富士宮支部長	望月 重人 (11期)
理事	高木 弘之 (1期)	沼津	静岡支部長	松村 健一 (6期)
//	橋本 脩 (3期)	沼津	小田原支部長	瀬戸 啓司 (9期)
//	村上 直人 (3期)	三島	熱海支部長	谷口 俊司 (2期)
//	佐野 勝己 (4期)	田方		
//	藤池 年男 (4期)	裾野		
//	庄司 一洋 (7期)	沼津		
//	江藤 雄二 (9期)	沼津		
//	植松 敬之 (14期)	三島		
監査	内田 敏明 (3期)	田方		
//	鈴木 真雄 (14期)	沼津		(平成27年6月総会時)

平成26年度

事業報告 (平成26年4月～平成27年3月)

1. 総会 平成26年6月20日(金) 18:30～ 三島プラザホテル
司会 副会長 宮澤 正

- (1)開会の辞 副会長 宮澤 正
(2)議事①役員の内命 副会長 手島 正武
(3)会長挨拶 会長 日置 信弘
(4)来賓挨拶

日本大学国際関係学部学部長 渡邊武一郎先生
日本大学三島高等学校・中学校校長 校長 津幡 晴樹先生

- (5)議事
①規約改正 ②平成25年度事業報告
③平成25年度決算報告 ④会計監査報告
⑤平成26年度事業計画案 ⑥平成26年度予算案
⑦事業案予算案承認

(6)表彰式
平成25年度国体東京大会テニス成年女子の部優勝
伊藤給美子, 木下 緑

- (7)閉会の辞 副会長 宮澤 正
(8)懇親会 小田原支部担当
①開会の挨拶 ②乾杯 ③顧問挨拶 ④懇親会(遷曆の祝い)
⑤抽選会 ⑥校歌斉唱 ⑦閉会の挨拶

2. 会議

- (1)本部役員会
①平成26年 4月11日(金)
②平成26年 5月23日(金)
③平成26年11月15日(金) 顧問, 相談役, 評議員
④平成27年 1月24日(金) 新年

- (2)理事会
①平成26年 3月28日(金)
②平成26年 4月25日(金)
③平成26年 5月 9日(金)
④平成26年 5月20日(月)
⑤平成26年10月 6日(月)
⑥平成26年12月 5日(金)
⑦平成27年 1月16日(金)
⑧平成27年 2月17日(月)
⑨平成27年 3月17日(月)

- (3)常任理事
①平成26年 6月13日(金) 顧問, 相談役
②平成26年 7月 9日(火)

- ③平成26年 7月19日(金)
④平成26年12月13日(金)
⑤平成26年 2月 7日(金)
⑥平成26年 3月 2日(月)

3. 本部事業(開催順)

- (1)平成26年 5月18日(日) 桜陵祭 富士支部・女子部会
(2)平成27年 2月21日(土) 母校8号館講堂3階 9:30～11:30
①第55期生同窓会入会式・記念品贈呈式表彰
木村 菜さん, 加藤大明君, 坂田敏明君, 石井未桜さん, 小林莉子さん 5名
②記念講演会 講師: 京都清水寺 森 清範貫主
演題 「見える命見えないいのち」
一字揮毫 「楽」
(3)平成27年3月4日 同窓会会報Vol.44 発行

4. 支部総会及び支部事業(支部役員会除く)

- (1)合同事業
桜陵祭 平成26年 5月18日(日) 文化祭, 富士支部, 女子部会
(2)三島支部 総会 平成26年 7月 4日(金) 日本大学国際学部15号館ラウンジ
(3)沼津支部 総会 平成26年10月 4日(土) ザ・グランドティアアラ沼津
(4)富士宮支部 総会 平成26年 9月27日(土) 小川荘
新入生歓迎会 平成26年 6月12日(土) グリーンホテル
(5)裾野支部 総会 平成26年 9月 7日(日) 景ヶ島バーベキュー
(6)御殿場支部 総会 平成26年 9月27日(土) THE GOTENBAKAN 2F
(7)田方支部 総会 平成26年 9月13日(日) みんなのハワイアンズ
(8)小田原支部総会 平成26年 9月20日(土) 小田原お堀端コンベンションホール
新年の集い 平成27年 2月 7日(土) ようげつ
(9)静岡支部 総会 平成26年 6月28日(土) ホテルアソシア静岡
旅行 平成26年12月 6日(土) 横浜, 横須賀バス旅行
新年会 平成27年 1月16日(金) 鹿嶋屋
(10)富士支部 総会 平成26年 7月 4日(日) ペアステージノイ
旅行 平成27年 1月 3日(土) 初詣・箱根駅伝観戦ツアー

5. その他

- ・平成26年 5月25日(日) 新沼津カントリークラブ
沼津支部主催ゴルフコンペ
・平成26年10月26日(日) リバー富士カントリークラブ
静岡支部主催ゴルフコンペ
・平成27年 3月15日(日) 大仁カントリークラブ
田方支部主催ゴルフコンペ

第56期生同窓会 入会金の納入のお願い

日本大学三島高等学校同窓会では、第56期生の入会にあたり、同窓会規約にもとづいて、終身会費1万円を納入することをお願いしています。高校卒業時に、学校に納めた費用のうちより納入していただいておりますので、ご理解、ご了承いただけますようお願いいたします。

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第45号

平成28年3月2日発行
発行者: 日置 信弘
編集: 事務局
〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号
TEL 055 (988) 3500 (高校事務課)
FAX 055 (988) 3517